

立命館大学大学院  
2024年度実施 入学試験

博士課程前期課程

人間科学研究科  
人間科学専攻

領域	入試方式	コース	実施月	専門		小論文	
				ページ	備考	ページ	備考
心理学領域	一般入学試験	公認・一般	9月	P.7～	-	P.18～	-
			2月	P.24～	-	P.35～	-
	社会人入学試験	一般	9月	P.7～	-	P.18～	-
			2月	P.24～	-	P.35～	-
	社会人入学試験(協定)	一般	9月	P.7～	-	P.18～	-
			2月	P.24～	-	P.35～	-
	外国人留学生入学試験	公認・一般	9月	P.7～	-	P.21～	-
			2月	P.24～	-	P.38～	-
	学内進学入学試験	公認・一般	7月	P.1～	-		
	APU特別受入入学試験	一般	9月			P.18～	-
2月					P.35～	-	
臨床心理学領域	一般入学試験	公認	9月	P.7～	-	P.18～	-
			2月	P.24～	-	P.35～	-
	外国人留学生入学試験	公認	9月	P.7～	-	P.21～	-
			2月	P.24～	-	P.38～	-
学内進学入学試験	公認	7月	P.1～	-			
実践人間科学領域	一般入学試験	一般	9月	P.7～	-	P.18～	-
			2月	P.24～	-	P.35～	-
	社会人入学試験	一般	9月			P.18～	-
			2月			P.35～	-
	社会人入学試験(協定)	一般	9月			P.18～	-
			2月			P.35～	-
	外国人留学生入学試験	一般	9月	P.7～	-	P.21～	-
			2月	P.24～	-	P.38～	-
	学内進学入学試験	公認・一般	7月	P.1～	-		
	APU特別受入入学試験	一般	9月			P.18～	-
2月					P.35～	-	

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの  
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院  
2024年度実施 入学試験  
博士課程後期課程

人間科学研究科  
人間科学専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

問題は回収します

## 人間科学研究科入学試験問題

(2024年7月13日実施)

博士課程前期課程

## 学内進学入学試験 心理学共通

(問題用紙4枚、解答用紙2枚)

&lt; 1時限目 45分 &gt;

※解答用紙にも、受験番号、志望領域、志望コース、氏名を記入しなさい。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

## 問. 心理学共通

[A] 以下の各問いについて、解答を選択肢の中から1つ選びなさい。

(1) 非宣言的記憶の下位区分として適切でないものはどれか選びなさい。

1. 手続き記憶
2. エピソード記憶
3. プライミング
4. 非連合学習

(2) 明るい場所から暗い場所に移動するとしばらく何も見えないが、次第に目が慣れてきてものが見えるようになる現象を何と言うか選びなさい。

1. 暗順応
2. 明順応
3. 馴化
4. 脱馴化

(3) 生後 11 ヶ月の男児に対する恐怖反応の条件づけ実験を行った米国の心理学者は誰か選びなさい。

1. Skinner, B. F.
2. Hull, C. L.
3. Thorndike, E. L.
4. Watson, J. B.

(4) 教師が期待することで、教師自身の子どもへのかかわりが変容することを何というか選びなさい。

1. アナウンス効果
2. ピグマリオン効果
3. ゴーレム効果
4. ブーメラン効果

(5) Marcia, J. E.によるアイデンティティ・ステータスのうち、危機を経験せずに、積極的な傾倒が行われている状態を何というか選びなさい。

1. 早期完了型
2. モラトリアム型
3. アイデンティティ達成型
4. アイデンティティ拡散型

(6) 愛着の発達の個人差を測定するストレンジ・シチュエーション法を開発したのは誰か選びなさい。

1. Spitz, R. A.
2. Bowlby, J.
3. Harlow, H. F.
4. Ainsworth, M. D. S.

(7) 感情に関する研究についての記述で適切でないものはどれか選びなさい。

1. 楽しい気分の際に楽しいエピソードを相手に語る方が、悲しいエピソードを相手に語るよりも好印象を与える。この理論は Sharott, T.が感情付随伝達機能として提唱している。
2. 感情の表出の在り方を文化的に規定するものを表示規則という。
3. 交感神経系の活性は心理的覚醒に対応し、副交感神経系の活性は心理的弛緩に対応する。
4. FACS は Ekman, P.らによって開発された表情の解析技法である。

(8) 傍観者効果と関連がある正しい組み合わせはどれか選びなさい。

1. A. 集団凝集性 B. ステレオタイプ脅威
2. A. 援助行動 B. 集団分極化
3. A. 多元的無知 B. 聴衆抑制
4. A. 責任の分散 B. ストレス緩衝効果

(9) 感情体験の経路や仕組みについて述べた理論とその提唱者の組み合わせとして、正しいものはどれか選びなさい。

1. セロトニン仮説：Asker, D. A.
2. 末梢起源説：Lange, C.
3. 中枢起源説：Cannon, W. B.
4. アドレナリン仮説：Heider, F.

※(9)については正しい選択肢が2つ存在していたため、受験者全員を正解といたしました。

(10) 動作性 IQ と言語性 IQ の算出が可能な知能検査を開発した人物として適切なものを選びなさい。

1. Wechsler, D.
2. Binet, A.
3. Stern, W.
4. Terman, L. M.

(11) 新行動主義の心理学者として適切でない人物を選びなさい。

1. Skinner, B. F.
2. Hull, C. L.
3. Tolman, E. C.
4. Thorndike, E. L.

(12) すべてのデータ（測定値）から 3 を減じた場合、標準偏差の変化として適切なものを選びなさい。

1. 標準偏差は 3 大きくなる。
2. 標準偏差は変わらない。
3. 標準偏差は 3 小さくなる。
4. 標準偏差は $\sqrt{3}$  小さくなる。

(13) 成人期・中年期の発達に言及している理論の説明として適切でないものを選びなさい。

1. Jung, C. G.は、人生の後半期において、自己の本来のあり方を見だし個人に内在する可能性を実現していく過程を「個性化の過程」と呼んだ。
2. 人生のライフサイクルを四季になぞらえ 4 つの発達期があるとした Levinson, D. J.は、中年への過渡期を「人生半ばの過渡期」と呼んだ。
3. Fromm, E.の理論は、人間は自分自身の力で人生を意味づけ変えていくことができるというポジティブな人間観を基盤とする。
4. Erikson, E. H.によれば、成人期の発達課題は「生殖性（世代性）」の獲得である。子どもを生むことだけでなく、広義の創造・生産活動、芸術作品、思想など知的活動が含まれる。

(14) 投影法 (A 群) とその考案者 (B 群) の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。

【A 群】

- ①バウムテスト
- ②TAT (主題統覚検査)
- ③P-F スタディ
- ④SCT (文章完成法)

【B 群】

- a. Rosenzweig, S.
- b. Koch, K.
- c. Ebbinghaus, H.
- d. Murray, H. A. & Morgan, C. D.

- 1. ①-c ②-d ③-a ④-b
- 2. ①-b ②-d ③-a ④-c
- 3. ①-d ②-c ③-b ④-a
- 4. ①-c ②-a ③-b ④-d

(15) Korchin, S. J.が4領域に分類した「コミュニティへの介入」として適切でないものを選びなさい。

- 1. 危機介入
- 2. コンサルテーション
- 3. 教育と態度変容
- 4. 専門家集団の利用

[B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50～100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【 】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・ ワーキングメモリ
- ・ ストループ効果
- ・ Kohlberg, L.の道徳性の慣習的水準
- ・ 通級
- ・ ネガティビティ・バイアス
- ・ 内田クレペリン精神検査
- ・ Pavlov, I.による条件反射の基本的考え方
- ・ 研究におけるインフォームド・コンセント
- ・ サイコドラマ (心理劇)
- ・ 系統的脱感作法

(第2時限：90分)

(2024年9月実施)

# 2025年度人間科学研究科入学試験問題

## 博士課程前期課程

### 専門

問題用紙6枚、解答用紙6枚

ページ

問1「心理学共通」	2～6
問2「心理学（心理学、心理学研究法）」	7
問3「臨床心理学（心理療法、心理検査）」	8
問4「実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）」	9～11

### 解答する科目

【心理学領域】 公認心理師コース 一般コース	問1「心理学共通」、問2「心理学（心理学、心理学研究法）」の2問を解答すること
【臨床心理学領域】 公認心理師コース	問1「心理学共通」、問3「臨床心理学（心理療法、心理検査）」の2問を解答すること
【実践人間科学領域】 一般コース	問4「実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）」を必ず解答し、問1「心理学共通」、問2「心理学（心理学、心理学研究法）」、問3「臨床心理学（心理療法、心理検査）」から1問を選択し、解答すること

### 注意事項

1. 問題冊子は入試方式・領域・コース共通です。上記の方法に従って解答してください。
2. 配布された問題用紙、解答用紙のホッチキス留めは絶対に外さないでください。
3. 試験開始後、解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入してください。
4. 問題冊子、解答用紙は全て回収します。
5. 3問以上の解答、また指定以外の科目を解答した場合は、すべてを採点対象としません。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

## 問1 心理学共通

[A] 以下の各問いについて、解答を選択肢の中から1つ選びなさい。

(1) 人間が言語を獲得できるのは脳内に言語獲得装置が生得的に備わっているからだと言張しているのは誰か選びなさい。

1. Bruner, J. S.
2. Vygotsky, L.
3. Chomsky, N.
4. Skinner, B. F.

(2) Baddeley, A. D. によるワーキングメモリの初期のモデルには存在しなかったシステムを選びなさい。

1. 中央実行系
2. エピソードバッファー
3. 音韻ループ
4. 視空間的スケッチパッド

(3) 以下の文章の空欄A～Cに当てはまる用語の組み合わせとして最も妥当なものはどれか選びなさい。

人間が行動した(あるいはしなかった)ことで生じた誤りのことを( A )という。( A )には例えば「ノブを押してドアを開けねばならないところを間違っ  
てノブを引いてしまった。」という誤りのように意図と結果が異なる場合の( B )や、「入口だろうと思って入ろうとしたら出口専用だった。」のように意図そのものが状況の誤解などによって既に誤りである場合の( C )などがある。

1. A ヒューマンエラー B スリップ C ミステイク
2. A スリップ B ヒューマンエラー C ミステイク
3. A ミステイク B スリップ C ヒューマンエラー
4. A スリップ B ミステイク C ヒューマンエラー

(4) Parten, M. B.による遊びの形態のうち、3歳頃に変化する前(A)と後(B)の遊びとして、最も適切な組み合わせを選びなさい。

1. A 一人遊び - B 平行遊び
2. A 傍観 - B 連合遊び
3. A 一人遊び - B 連合遊び
4. A 平行遊び - B 連合遊び

(5) モラルジレンマ課題を用いて道徳性の研究を行った人物として適切なものを選びなさい。

1. Seligman, M. E. P.
2. Bloom, B. S.
3. Kohlberg, L.
4. Gilligan, C.

(6) Guilford, J. P.による「知能構造モデル」を構成する3つの次元の組み合わせとして適切なものを選びなさい。

1. 内容 - 操作 - 所産
2. 内容 - 操作 - 特殊
3. 一般 - 特殊 - 所産
4. 一般 - 特殊 - 操作

(7) Lee, J. A.の愛情の類型に関する記述で適切でないものはどれか選びなさい。

1. ludas: 恋愛をゲームとしてとらえ、楽しむことを重要とする。相手に執着することなく、距離を保とうとする。複数の相手との恋愛ができる
2. eros: 恋愛を至上のものとしてとらえ、ロマンティックな考えや行動をする。相手に対しては外見を重視する。
3. mania: 独占欲が強く、激怒などの激しい感情を伴う。
4. agape: 相手の利益のみを考え、相手のために自信を犠牲にすることも躊躇しない。

※(7) 4.の選択肢に漢字の表記誤りが存在していたため、受験者全員を正解といたしました。

(8) 段階的要請法 (foot-in-the door technique) の説明として正しいものはどれか選びなさい。

1. 最初に大きな要請をして拒否させた後、目的とする小さな要請をする。
2. 最初に小さな要請をして承諾・実行させた後、目的とする大きな要請をする。
3. 要請に応じやすい状況をあらかじめ作り、要請を行う。
4. 要請が段階的に行われることを最初に伝えた上で、順次要請を行う。

(9) Allport, G. W.の業績でないものはどれか選びなさい。

1. 性格表現語の抽出
2. 「特性」の概念的定義
3. 心誌 (psychograph) の考案
4. 内分泌が人格にもたらす影響

(10) Stern, W. に関する記述として最も適切なものを選びなさい。

1. 知能因子の考え方を提唱した。
2. 知能指数 (IQ) の考え方を提唱した。
3. 知能偏差値 (偏差 IQ) の考え方を提唱した。
4. 非言語性知能検査の考え方を提唱した。

(11) チンパンジーを対象として洞察学習の実験を行ったゲシュタルト心理学者を選びなさい。

1. Premack, D.
2. Koffka, K.
3. Köhler, W.
4. Gardner, R. A.

(12) 次の各記述で適切でないものを選びなさい。

1. 最頻値・中央値・平均値のすべてが同じ値になることはない。
2. 中央値は外れ値の影響を受けにくい。
3. ある分布において、中央値と一致するデータが存在しないことがある。
4. 平均値が 60 のとき、値が 80 のデータを加えると、平均値は大きくなる。

(13) 精神分析の理論 (A 群) とその提唱者 (B 群) の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。

【A 群】

- ①自我心理学
- ②対人関係論
- ③対象関係論
- ④自己心理学

## 【B 群】

- a. Sullivan, H.S.
- b. Klein, M.
- c. Kohut, H.
- d. Freud, A.

- 1. ①-a ②-d ③-c ④-b
- 2. ①-d ②-a ③-b ④-c
- 3. ①-c ②-b ③-d ④-a
- 4. ①-a ②-c ③-b ④-d

(14) 性格検査に関する記述として適切でないものを選びなさい。

- 1. YG 性格検査では、6 因子にまとめられる 120 項目 12 尺度からなる性格傾向をとらえる。
- 2. MMPI には、妥当性尺度と臨床尺度などから構成される 550 項目の検査項目がある。
- 3. ビッグ・ファイブでは、人格を、神経症傾向、外向性、内向性、調和性、誠実性の 5 つの次元から構成されると仮定する。
- 4. MPI は Eysenck, H.J.によって作成された。

(15) 以下の家族療法に関する記述のうち、適切なものはいくつあるかを選びなさい。

- ①コミュニケーション派は、家族間でなされるメタ・コミュニケーションに注目し、家族が共有する暗黙のルールや個人の感情を置き去りにする機能不全のコミュニケーションを改善しようとする。
- ②ミラノ派（システムック派）は、家族を一つのシステムととらえ、問題行動はシステムの平衡状態を維持するためのメッセージであると考ええる。
- ③Bateson, G.はダブルバインド（二重拘束）理論を作り出した。
- ④構造派は、家族内のサブシステムの構造、家族成員間の提携の仕方などに注目する。

- 1. 1つ
- 2. 2つ
- 3. 3つ
- 4. 4つ

[B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50～100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【     】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・ メタ認知
- ・ 手続き記憶
- ・ 成熟前傾現象
- ・ 人生の正午
- ・ 自己評価維持モデル
- ・ 表示規則
- ・ 効果の法則
- ・ 記憶実験における節約法
- ・ シェーピング
- ・ Caplan, G.の予防モデル

## 問 2 心理学（心理学、心理学研究法）

以下のシナリオを読んで問いに答えなさい。

大学院生の X さんは質問紙調査にランダム化比較試験の要素を組み込んだ「サーベイ実験」と呼ばれる研究を実施することにした。研究目的は、情報の提示により商品の評価が変わるかどうかの検証である。この調査において参加者は、情報を提示されたうえである商品の評価をおこなった。提示される情報は 3 種類であり、提示される情報に応じて「A 群」「B 群」「C 群」と参加者を分けて呼ぶことにした。A 群は商品の画像のみを示した統制群である。B 群は商品の画像とともに文章情報を加えた情報群である。C 群では商品の画像とともに虚偽の文章情報を提示した虚偽情報群である。商品の評価は 6 件法でおこない、選択肢は「非常によい」「よい」「ややよい」「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の 6 つであった。

- (1) ランダム化比較試験とは何かを説明しなさい。また、この実験を対面でおこなう場合、どのようにランダム化をおこなうのがふさわしいか、具体的に説明しなさい。(150 字以内)
- (2) この研究で文章情報の提示により商品の評価が変わるかどうかを検証するためには、どのような統計的検定の手法がふさわしいか、「独立変数」「従属変数」「要因数」「水準」という用語を使って具体的に説明しなさい。ただし、商品の評価は間隔尺度として取り扱って問題ないものとする。(100 字以内)
- (3) 本研究では一部の参加者は虚偽の情報を提示される。これはデセプションの一種であり、研究倫理上の問題をはらんでいる。この問題を軽減するためにどのような手続きをとるのがふさわしいか、「デブリーフィング」「同意」という用語を使って説明しなさい。(150 字以内)
- (4) 本研究の結果をもって、文章情報の提示が商品の評価に与える（平均的な）因果関係を示したと言えるかどうか、理由とともに説明しなさい。ただし、ランダム化比較試験は適切な方法でおこなえているものとする。(100 字以内)

### 問3 臨床心理学（心理療法、心理検査）

1. 以下の心理検査に関する文章を読み、（ ）に当てはまる適切な言葉を書きなさい。
  - (1) 作業検査法の一つに（ ① ）検査がある。これは、Kraepelin, E.の連続加算作業過程に働く精神機能の実験的研究を内田勇三郎が日本版に標準化したものである。判定は主に量的指標である（ ② ）と質的特徴を示す（ ③ ）の二つの面からなされる。
  - (2) P-F スタディは（ ④ ）によって公刊された欲求不満理論に基づく投映法検査である。提示される24の欲求不満場面は（ ⑤ ）場面と（ ⑥ ）場面の2つに大別される。④は、各場面で欲求不満状態にある人物の反応に被検者独自の傾向が投映されると考えた。
  - (3) Kaufman, A. S. & Kaufman, N. L.によって開発された、子どもの知能を認知処理過程と習熟度から測定する検査名は（ ⑦ ）である。
2. 臨床心理査定および臨床心理面接は、被検者および被面接者を観察することを基礎に置いている。対人関与における検査者および面接者の「関与しながらの観察」について説明しなさい。（200字以内）
3. 臨床心理的地域実践の一つである危機介入について、以下の問いに答えなさい。
  - (1) 危機状態とはどのような状態か、説明しなさい。（150字以内）
  - (2) 危機介入における支援の特徴について、前提となる理論ならびに目的を含めて説明しなさい。（250字以内）

## 問 4 実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）

次の米国ノースイースタン大学の学長へのインタビュー記事からの抜粋を読み、問いに答えなさい。（出典：「米有力大の「耐AI」教育」日本経済新聞、2024年6月17日）

=====

人工知能（AI）が人間の仕事を奪う懸念が出ている。大学はAIに負けない人材を育てられるのか。機械に置き換えられない人づくりを唱えてきた米国の有力私立大、ノースイースタン大（ボストン）のジョセフ・アウン学長に、今後の大学に求められる教育とは何かを聞いた。

——AI時代に求められる人材とは何でしょう。

「AIは多くの仕事を陳腐化すると同時に新たな仕事を生み出す。人間がAIや機械ができないことに目を向ける好機でもある」

「機械は数字や数値化に関わることを得意とする。人間は異なる文脈や状況を理解すること、例えばチームメンバーが何をしていた、これから何をするのか、その強みや弱みを理解して取り組むことが得意だ。今後はリーダーシップと創造性、異なる文化に機敏に適応する力を発揮できる仕事が残っていくだろう」

——これらを満たす人を育てる力が大学にあるのでしょうか。

「大学の使命は第1に市民の教育、第2に新たな知識や発見の創出だ。AIがある現代では人々をロボットプルーフ（耐ロボ性）、フューチャープルーフ（耐未来性）、AIプルーフ（耐AI性）にすることが求められる」

「大学はカリキュラムを変え、次の3つを教育内容に含める必要がある。1つ目は技術リテラシー、つまり機械がどう動くかを理解すること。2つ目のAIリテラシーはAIがどう動くかを理解すること。3つ目はヒューマンリテラシーで、革新性や創造性、起業家精神、異文化への機敏な対応力を身につけさせることだ」

「学んだ知識を実際の現場で使えるようにする『経験学習』が次のステップになる。これは教室内の指導と実社会における指導を統合するものだ。例えば6カ月といった長期間にわたるインターンシップに参加し、企業で働く。これにより人間ならではのスキルが磨かれ、様々な状況で応用できるようになる」

——ノースイースタン大は生成AIを教育で使っていますか。

「もちろんだ。全ての学生がAIを使えるようにしたい。一部の大学は当初、生成AIの使用を禁止したが、止めることはもはやできない。論文への盗用などを懸念する声があるが対処は実は容易だ。AIによって作られた文章を学生に示し、良い点や問題点を問えばよい」

——インターンがなぜ大切なのですか。

「ノースイースタン大は 149 カ国にある企業 3 千社超と学生をつなぎ、『コーオペ教育』と呼ぶ長期インターンを実施してきた。そのなかでコスタリカの非営利団体に行き、農場と協力して作物を選ぶシステムの開発に参加した学生がいる。彼女は専攻してきた金融の知識を応用し、その土地に最適かつ持続可能で需要がある作物を選ぶシステムにした」

「これはある領域から全く別の領域に知識を移す『遠い転移』という概念で、人間は日々行っているが機械は今のところできない。だから教育の内容を変え、実践的な側面を含めることが必要なのだ」

——米国の大学でコーオペ教育は普及していますか。

「米国の高等教育機関は小規模から大規模、私立から公立まで多様だが違いはあまりない。ほとんどが同じ教育モデルを採用し、学生を 4 年間教育し、主に教室で学ぶ形をとる」

「大学は『象牙の塔』にこもるべきではない。ノースイースタン大は経験学習を特色とし、教室での学びと社会での経験を一体化させ、機械がまねできない能力を鍛えている。だから全米の私大で有数の志願者数を獲得できている」

——米国のほかカナダや英国にも進出し、13 ものキャンパスを展開しています。拡大戦略をとる理由は。

「生涯学習の需要に対応するためだ。社会人は多忙でキャンパスに来る時間はないため、大学が彼らの元へ行き、学びを提供する。大学は社会人や企業の求めを理解し、応える必要がある。だからキャンパスを増やした」

「米国の大学生数は新型コロナウイルス禍前より約 110 万人減った。定員を満たす大学は 36%に過ぎない。高齢化が進み大学に進む若者が減る一方、生涯学習やスキルアップの需要が増している」

「耐ロボ性や耐未来性を身につけるのは生涯を通じた取り組みになる。機械や AI が日々進化しているからだ」

——生涯学習のプログラム提供には営利団体や企業も参入しています。大学は勝ち残れますか。

「非営利の大学は使命に社会貢献を掲げ、社会全体に影響を与えようとしている。社会的な影響を与えることが必ずしも利益になるわけではない。だから成功は長期的にみて評価しなければならない」

「我々は過去に米グーグルからコンピューターサイエンティストの育成を頼まれ、長期インターンで社会人らを教えるプログラムをつくり、成功した。これを営利目的の企業が行うのは簡単でない。結果が見えない状態でリスクを伴う投資を求められるからだ」

「政府も生涯学習を後押しできる。シンガポールは市民に生涯学習用のアカウントを与えた。英国政府は一定規模以上の企業に対し、社員のスキル向上を支援するため賃金総額の0.5%を提供するよう要請した。AI時代に市民が活躍するため、大学、雇用主、政府が協力していくことが望ましい」

「人々が自己を再定義することが求められている現在は『高等教育の黄金時代』といえる。大学は将来を心配しすぎる必要はないが、生涯学習を取り入れていかななくてはならない」

====

- (1) 上記の文章の内容を要約しなさい。(300字以内)
  
- (2) 大学における「コーオペ教育」の持つ意義について、あなたの考えを書きなさい。(300字以内)

問題は回収します

(第1時限：60分)

(2024年9月実施)

## 2025年度人間科学研究科入学試験問題 博士課程前期課程

### 小論文

問題用紙2枚、解答用紙3枚

＜一般入学試験、社会人入学試験＞

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

トレーニングを積んだ科学者でも、データから実際の判断を下す点については、専門的な訓練がなされているわけではありません。彼らは、データから学術的な結論を出して論文を書く行為については専門家ですが、その結論から実際の行動を判断する専門家ではありません。この二つは全く別です。論文における解釈は間違っているとしても、次の論文で修正するか、他の人が修正してくれればよいのですが、日常生活は判断を間違えると不可逆な被害が発生するかもしれません。日常生活では、実験室のように条件を一定にすることはできませんから、研究結果をそのまま適用することには原理的に無理があるのです。

一般に、科学者と呼ばれる職業集団の人間は、データからすぐに結論を出したがる傾向が強いのです。そうでないと大量の論文は書けませんし、競争の激しい学界で生き残ることは困難です。しかし、それは学界という失敗の許された世界での話です。その調子で、実社会の問題について何らかの判断を下すことは、それはあくまでも限定された範囲での主観的な判断にすぎないことを強調しておかなければ、それを簡単に信じてしまう人間が多い世の中では危険です。科学者は学界という狭い範囲では専門家かもしれませんが、実社会では誰もが一人の素人にすぎないのです。

(中略)

科学の世界では、事実と価値を厳しく区分する必要があります。実験で得られた事実としてのデータと、そのデータから社会に対して何らかの提言を行うことは、区別しなければなりません。なぜなら、後者には何らかの価値観が反映されざるをえず、価値観に対して客観的な正しさを主張することはできないからです。したがって、そこでは議論が不可欠です。厳密に考えれば、データを採取する方法の採用にあたっては科学者の価値観が影響するので、科学研究においても厳密な事実と価値の区別は無理なのですが、この点については専門家同士で議論してもらえばよい話です。いずれにしても、価値観が介在する以上、議論を省くことはできません。

科学が、学問の世界で閉じるのではなく、社会に影響を与えることは、近年ますます一般的になってきています。原子力開発、遺伝子技術、気候変動などは、科学と社会の接点なしには研究も政策も進められないものです。そのときに、科学は学界から外に出て、社会とコミュニケーションをとらなければなりません。これは科学を超える領域、すなわち「トランス・サイエンス」です。

トランス・サイエンスにおける科学と社会のコミュニケーションに詳しい小林傳司氏は、科学とトランス・サイエンスの違いを、判断の有無に求めています。それは、確率の評価に典型的に表れます。小林氏は次のように説明します。「科学的な意味での確率、つまりある事柄の発生の蓋然性に関する数値的見積もりについては専門家の間である程度一致するが、その確率を安全と見るか危険と見るかというリスク評価の場面では、判断が入るため、科学の問いの領域を越え始める（トランス）」のです。

出典：國部克彦（2022）『ワクチンの境界—権力と倫理の力学』アメージング出版 89-90、103-104 頁

- (1) 筆者が本文において言っていることを要約しなさい。(400 字以内)
- (2) 本文において書かれていることに対するあなたの考えを述べなさい。その際、自らの社会人・学生としての経験や、人間科学研究科あるいは自身が志望する特定の領域と関連づけて、どのような立場からその考えを述べているのかを明記したうえで述べなさい。(800 字以内)。

問題は回収します

(第1時限：60分)

(2024年9月実施)

## 2025年度人間科学研究科入学試験問題 博士課程前期課程

### 小論文

問題用紙2枚、解答用紙2枚

＜外国人留学生入学試験＞

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

トレーニングを積んだ科学者でも、データから実際の判断を下す点については、専門的な訓練がなされているわけではありません。彼らは、データから学術的な結論を出して論文を書く行為については専門家ですが、その結論から実際の行動を判断する専門家ではありません。この二つは全く別です。論文における解釈は間違っているとしても、次の論文で修正するか、他の人が修正してくれればよいのですが、日常生活は判断を間違えると不可逆な被害が発生するかもしれません。日常生活では、実験室のように条件を一定にすることはできませんから、研究結果をそのまま適用することには原理的に無理があるのです。

一般に、科学者と呼ばれる職業集団の人間は、データからすぐに結論を出したがる傾向が強いです。そうでないと大量の論文は書けませんし、競争の激しい学界で生き残ることは困難です。しかし、それは学界という失敗の許された世界での話です。その調子で、実社会の問題について何らかの判断を下すことは、それはあくまでも限定された範囲での主観的な判断にすぎないことを強調しておかなければ、それを簡単に信じてしまう人間が多い世の中では危険です。科学者は学界という狭い範囲では専門家かもしれませんが、実社会では誰もが一人の素人にすぎないのです。

(中略)

科学の世界では、事実と価値を厳しく区分する必要があります。実験で得られた事実としてのデータと、そのデータから社会に対して何らかの提言を行うことは、区別しなければなりません。なぜなら、後者には何らかの価値観が反映されざるをえず、価値観に対して客観的な正しさを主張することはできないからです。したがって、そこでは議論が不可欠です。厳密に考えれば、データを採取する方法の採用にあたっては科学者の価値観が影響するので、科学研究においても厳密な事実と価値の区別は無理なのですが、この点については専門家同士で議論してもらえばよい話です。いずれにしても、価値観が介在する以上、議論を省くことはできません。

科学が、学問の世界で閉じるのではなく、社会に影響を与えることは、近年ますます一般的になってきています。原子力開発、遺伝子技術、気候変動などは、科学と社会の接点なしには研究も政策も進められないものです。そのときに、科学は学界から外に出て、社会とコミュニケーションをとらなければなりません。これは科学を超える領域、すなわち「トランス・サイエンス」です。

トランス・サイエンスにおける科学と社会のコミュニケーションに詳しい小林傳司氏は、科学とトランス・サイエンスの違いを、判断の有無に求めています。それは、確率の評価に典型的に表れます。小林氏は次のように説明します。「科学的な意味での確率、つまりある事柄の発生の蓋然性に関する数値的見積もりについては専門家の間である程度一致するが、その確率を安全と見るか危険と見るかというリスク評価の場面では、判断が入るため、科学の問いの領域を越え始める（トランス）」のです。

出典：國部克彦（2022）『ワクチンの境界—権力と倫理の力学』アメージング出版 89-90、103-104 頁

- (1) 筆者が本文において言っていることを要約しなさい。（400 字以内）
- (2) 本文において書かれていることに対するあなたの考えを述べなさい。（400 字以内）

問題は回収します

(第2時限：90分)

(2025年2月実施)

# 2025年度人間科学研究科入学試験問題

## 博士課程前期課程

専 門
-----

問題用紙6枚、解答用紙6枚

ページ

問1「心理学共通」	1～5
問2「心理学（心理学、心理学研究法）」	6
問3「臨床心理学（心理療法、心理検査）」	7
問4「実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）」	8～10

### 解答する科目

<b>【心理学領域】</b> 公認心理師コース 一般コース	問1「心理学共通」、問2「心理学（心理学、心理学研究法）」の2問を解答すること
<b>【臨床心理学領域】</b> 公認心理師コース	問1「心理学共通」、問3「臨床心理学（心理療法、心理検査）」の2問を解答すること
<b>【実践人間科学領域】</b> 一般コース	問4「実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）」を必ず解答し、問1「心理学共通」、問2「心理学（心理学、心理学研究法）」、問3「臨床心理学（心理療法、心理検査）」から1問を選択し、解答すること

### 注意事項

1. 問題冊子は入試方式・領域・コース共通です。上記の方法に従って解答してください。
2. 配布された問題用紙、解答用紙のホッチキス留めは絶対に外さないでください。
3. 試験開始後、解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入してください。
4. 問題冊子、解答用紙は全て回収します。
5. 3問以上の解答、また指定以外の科目を解答した場合は、すべてを採点対象としません。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

## 問1 心理学共通

[A] 以下の各問いについて、解答を選択肢の中から1つ選びなさい。

(1) 入力された情報と、長期記憶に保持されているパターンの原型を示すものとの照合によって認識が生じるとするパターン認識のモデルを何というか選びなさい。

1. 特徴分析モデル
2. 制約依存モデル
3. 多重貯蔵モデル
4. 鋳型照合モデル

(2) 発話をしている口の形を写した映像と実際に聴覚に入力された音声不一致の場合に両者の中間的音声が知覚されることを何効果というか。次の中から選びなさい。

1. ハロー効果
2. マガーク効果
3. カクテルパーティー効果
4. ピグマリオン効果

(3) 一時的構造曖昧文を読んでいる途中で誤った方の解釈を選択した結果、文構造の再解釈が必要となり、文処理のコストが増大する現象を何というか選びなさい。

1. プルキンエ現象
2. 負のプライミング現象
3. ガーデンパス現象
4. ストループ現象

(4) Blos,Pは親からの自立をめぐり、青年期をどのような時期であるとしたか、最も適切なものを選びなさい。

1. 心理的離乳
2. 疾風怒濤
3. 第2の分離個体化
4. ギャング・エイジ

(5) Erikson, E. H.の漸成的発達理論のうち、幼児期後期 (A) と学童期 (B) の課題の組み合わせとして適切なものを選びなさい。

1. A 自発性 – B 勤勉性
2. A 自律性 – B 勤勉性
3. A 基本的信頼 – B 自発性
4. A 自発性 – B 自律性

(6) 非認知能力として最も適切でないものを選びなさい。

1. 意欲
2. 計画性
3. 自制心
4. 学力

(7) 恐怖管理理論 (存在脅威管理理論) に関する記述で適切でないものはどれか選びなさい。

1. 外部からの攻撃に対する対処方略に関する理論である。
2. 社会心理学の理論である。
3. 死への不安が基本的動機として仮定されている。
4. 1980 年代に提唱された。

(8) 次の心理検査のうち、投影法検査に属するものはどれか選びなさい。

1. NEO-PI-R
2. ソンディテスト
3. 内田クレペリン検査
4. TEG (東大式エゴグラム)

(9) 古代ギリシア時代、ヒポクラテス (Hippocrates) は人間の体液の混合具合と病気の関連性を提唱した。ここで言われる体液と関係のあるものはどれか選びなさい。

1. リンパ液
2. 組織液
3. 唾液
4. 黄胆汁

(10) アカゲザルを対象に愛着の実験を行った研究者を選びなさい。

1. Rumbaugh, D
2. Harlow, H. F.
3. Hayes, K. & Hayes, C.
4. Gardner, R. A. & Gardner, B. T.

(11) 人間は生まれたときは白紙状態（タブラ・ラサ）であると主張した哲学者を選びなさい。

1. Locke, J.
2. Descartes, R.
3. Kant, I.
4. Rousseau, J. -J.

(12) 1の目が出やすいというサイコロを調べるために、20回振って出た目の回数を数えた。そのデータを基に「このサイコロは1の目が出やすいと言えるか」を検証する検定法として適切なものを選びなさい。

1. t 検定
2. 分散分析
3. 二項検定
4. z 検定

(13) 以下の統合失調症概念の成立に関する記述について、空欄 A,B,C に当てはまる用語の組合せとして正しいものはどれか選びなさい。

20世紀当初、(A)が早発性痴呆、後に(B)が精神分裂病という病名で、今日の統合失調症概念に近い考えをまとめた。統合失調症の記述的研究を行った(C)は、その特徴として一級症状を挙げた。

1. (A) Bleuler, E. (B) Kraepelin, E. (C) Schneider, K.
2. (A) Schneider, K. (B) Bleuler, E. (C) Kraepelin, E.
3. (A) Kraepelin, E. (B) Schneider, K. (C) Bleuler, E.
4. (A) Kraepelin, E. (B) Bleuler, E. (C) Schneider, K.

(14) 防衛機制に関する記述として適切でないものを選びなさい。

1. 投射・投影とは、自分の中に生じた受け入れがたい内的衝動や感情を外在化して自己の外部のものとして知覚し反応することである。
2. 昇華とは、社会的に好ましくない目的や対象を社会的に受け入れられる形に変え、衝動的な欲求の充足を得て、目的を維持することである。
3. 分離とは、最初に見いだされた防衛機制で、不快や苦痛や不安や罪悪感などの否定的感情を体験せざるをえない記憶や観念を意識から排除することである。
4. 抑制とは、意識的な衝動や葛藤への注意を意識的あるいは半ば意識的に延期することである。

(15) 認知療法でいう推論の誤り（認知の誤り）（A 群）とその説明（B 群）の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。

**【A 群】**

- ①拡大解釈と過小評価
- ②恣意的推論
- ③選択的抽象化
- ④過剰な一般化

**【B 群】**

- a. 属性、出来事または感覚の意味などを、誇張、または軽視してとらえること。
- b. 相反する根拠があるにもかかわらず、または根拠がないのに、結論を出すこと。
- c. 一つまたは複数の独立した出来事について出した結論を、非論理的に拡張して、多岐にわたる機能領域にまで適用すること。
- d. 入手できる情報の一部にだけ目を向けて結論を引き出すこと。

1. ①-a ②-b ③-d ④-c
2. ①-b ②-d ③-a ④-c
3. ①-d ②-b ③-c ④-a
4. ①-c ②-a ③-b ④-d

[B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50～100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【     】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。

- ・ 確証バイアス
- ・ 言語相対性仮説（サピア・ウォーフの仮説）
- ・ 結晶性知能
- ・ Bloom, B. S.の教育評価
- ・ セルフ・ハンディキャッピング
- ・ レジリエンス
- ・ 実験法
- ・ 刺激閾（絶対閾）と弁別閾
- ・ 燃え尽き症候群
- ・ あいまいな喪失

## 問 2 心理学（心理学、心理学研究法）

以下のシナリオを読んで問いに答えなさい。

大学院生の A さんは、クチコミ情報の提示により商品の評価が変わるかどうかを検証するため、質問紙調査を実施することにした。この調査において参加者は、まずある商品 G の商品情報を見た上で評価をおこなう。次に、商品 G に関するクチコミ情報が提示される。最後に再度商品 G の評価をおこなう。商品の評価は毎回 100 点満点で採点した。

- (1) 本研究の実験計画はどのようなものか、以下の用語をすべて用いて説明しなさい。(100 字以内)

独立変数、従属変数、要因数、水準、参加者■計画（■には漢字を 1 字あてはめる）

- (2) この研究でクチコミ情報の提示により商品の評価が変わるかどうかを検証するためには、どのような統計的検定の手法がふさわしいか。「対応」という用語を用いて説明しなさい。ただし、商品評価の分布は正規分布に従っていると考えるよいものとする。(50 字以内)

- (3) 上記の統計的検定を A さんが実施した結果、得られた p 値が 0.112 であった。p 値とは何かを「帰無仮説」という用語を使って説明しなさい。(100 字以内)

- (4) 本研究において、A さんは有意水準を 5% と設定していた。p 値が 0.112 と有意水準を超えなかったため、A さんは追加実験をおこなった。A さんは追加実験前の参加者データと追加実験の参加者データを合わせて改めてデータ分析をおこなった。p 値が 0.041 となったため、この結果をもって論文を執筆することにした。A さんの行為に研究倫理上のどのような問題があるか、「p 値ハッキング」という用語を使って説明しなさい。(150 字以内)

### 問3 臨床心理学（心理療法、心理検査）

- (1) テスト・バッテリーとは何か、その目的と組み方の例を含めて説明しなさい。(300字以内)
  
- (2) Rogers, C. R.が提示したカウンセラーの守るべき3原則（無条件の肯定的関心、共感的理解、自己一致）は、対人援助における基本的な態度であるとされている。来談者中心療法においてクライアントが変容するために、この内の自己一致が必要であると考えられているのは何故か。カウンセリング場面におけるカウンセラーの自己不一致の状態を例示して説明しなさい。(400字以内)
  
- (3) Axline, V. M.の非指示的遊戯療法における8原則の一つに「必要な制限を与える」とある。必要な制限とはどのようなものを挙げたうえで、なぜ臨床的に重要であるのかを説明しなさい。(250字以内)

## 問 4 実践人間科学（心理学をコアとする人間科学）

次の集合知と偽情報に関する記事からの抜粋を読み、問いに答えなさい。（出典：日本経済新聞 2024 年 6 月 17 日朝刊）

====

投稿内容はネット検索に出てこない。ウェブサイト内に広告は一切表示しない。「いいね！」ボタンも送金機能もない SNS が 2023 年、ひっそりと公開された。見た目は地味だが、設立趣旨は明快だ。「正直さと信頼性が何よりも評価される場所をつくる」

### X への対抗意識

立ち上げたのは英国在住のプログラマー、ジミー・ウェールズ氏。誰もが編集に参加できるウェブ百科事典「ウィキペディア」の創設者として知られる。人々が信頼を築く SNS という願いを込めて「トラストカフェ」と名付けた。

01 年に発足したウィキペディアは約 80 万人のボランティアがファクトチェックを繰り返す**集合知（注）**によって記事の信頼性を高めている。英文の場合、1 本の記事には平均で約 180 回の修正が加わる。大勢の知識を持ち寄れば真実に近づくという理念が活動の支えだ。

ウェールズ氏はトラストカフェの構築にあたって、時事やテクノロジーに関する投稿の中身を利用者が相互に検証するメカニズムを取り入れた。投票を通じて投稿者の信頼度が評価され、ランクが高い利用者は SNS の運営にも携わる。

背景には既存 SNS への不満がある。ウェールズ氏が名指しするのが米起業家のイーロン・マスク氏が 22 年に買収した X（旧ツイッター）だ。利用者同士が投稿を直接修正する機能を欠くために、誤った情報を拡散する「不健全なメディアだ」と批判する。

一方のマスク氏の目には、多くの知識を反映すれば偏りの少ない情報にたどり着くという発想はうさんくさく映るようだ。「なぜそんなにカネを欲しがするのか」。非営利団体が運営し、サイト内で頻繁に寄付を募るウィキペディアをからかう発言を続ける。

ウェールズ氏も対抗意識を隠さない。「時間とともに多くの人が集まり、重要な存在になる」とトラストカフェの潜在力を確信する。バランスのとれた情報を強みに史上最大の百科事典となったウィキペディアの再現を狙う。

誰もが参加できるオープンな集合知の仕組みは、テクノロジーを正しく機能させる監視役として重みを増している。米非営利団体が立ち上げた「AI インシデントデータベース」は、人工知能（AI）が招いた各種のトラブルを有志の力で記録・分類し、再発を防ごうとする取り組みだ。

700 件を超える記録の中には 18 年に米ウーバーテクノロジーズがアリゾナ州で起こした世界初の自動運転死亡事故や、23 年に顔認証システムの誤作動で起きた米デトロイト市警

の誤認逮捕などが含まれる。報告されるトラブルの数は過去 5 年で 3 倍近くに増えた。

米首都ワシントンの大学講師、ダニエル・アサートンさんは 22 年にデータベースづくりに加わった。専門は中世文学で、コンピューターサイエンスを本格的に学んだ経験はない。それでも「AI の影響を批判的に分析して議論するには、あらゆる分野の人々が実装に関わる必要がある」との思いに突き動かされた。

## 国・企業動かす

米非営利団体オール・テック・イズ・ヒューマン (ATIH) は AI の開発者らが交流し、議論できる場を提供している。AI の倫理面の課題や規制のあるべき姿などについて公に訴えるためだ。18 年に同団体を立ち上げた法律専門家のデイビッド・ポルガー氏は「公共の利益に沿うようにテクノロジーをデザインしなければならない」と話す。

専用の連絡チャットには約 90 カ国から約 9000 人が参加する。AI などの開発をめぐって自らの職場の倫理的な姿勢に不満を持つメンバーには、別の企業への転職をあっせんする。人材の流出を懸念するテック企業に方針転換を迫る戦略だ。

米連邦議会の超党派の議員団は 23 年秋、AI 規制のあり方を話し合う官民の会議体を立ち上げた。24 年 5 月には取り組むべき政策と優先度を示す工程表を発表した。ポルガー氏は「正しい方向への第一歩だ」と手応えをつかむ。所属組織の垣根を越えてこだまする技術者らの声は、政策決定者とテック企業の双方を動かし始めた。

(注)

▽...多人数の知識を蓄積し、体系化して目標達成や問題解決に役立てる概念。インターネットの登場で、人々が知恵を持ち寄って新たな知を生み出すことが容易になった。特に掲示板やブログ、SNS を通じて個人が情報を発信するようになった 2000 年代半ばから広く定着した。

▽...ウェブ百科事典「ウィキペディア」はネット時代の集合知の代表例だ。2001 年の運用開始以来、ボランティアによって書かれた記事の数は英語版だけで 700 万本近くに達した。著名なウェブサイトにはリンクなどが載っているコンテンツを「信頼性が高い」とみなす米グーグルの検索エンジンも集合知を応用したサービスの一例だ。

▽...ネットを介して幅広い人々の知識や技能を活用する「クラウドソーシング」や、企業が外部の知見を取り入れて製品やサービスを開発する「オープンイノベーション」など、集合知の発想を取り入れる試みはビジネスの現場にも浸透する。一方で集合知を促進する役割が期待された SNS は偽情報の拡散や社会の分断を招くなど、負の側面が問題視されている。

====

- (1) 上記の文章の内容を要約しなさい。(300字以内)
  
- (2) オープンな集合知の仕組みとしての SNS の可能性について、あなたの考えを書きなさい。(300字以内)

問題は回収します

(第1時限：60分)

(2025年2月実施)

2025年度人間科学研究科入学試験問題  
博士課程前期課程

小論文

問題用紙2枚、解答用紙3枚

<一般入学試験、社会人入学試験>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

以下の文章は、約百年前、世界中で流行したスペイン風邪（感冒、流行性感冒）について、当時書かれた短編小説である。これを読んで問いに答えなさい。

毎日の新聞に出る死亡者数の増減に依って、自分は一喜一憂した。日毎に増して行って、三千三百三十七人まで行くと、それを最高の記録として、僅かばかりではあったが、だんだん減少し始めたときには、自分はホッとした。が、自重した。二月一杯は殆ど、外出しなかった。友人はもとより、妻までが、自分の臆病を笑った。自分も少し神経衰弱の恐病症に罹って居ると思った。が、感冒に対する自分の恐怖は、何うにもまぎらすことの出来ない実感だった。

三月に、は入ってから、寒さが一日一日と、引いて行くに従って、感冒の脅威も段々衰えて行った。もうマスクを掛けて居る人は殆どなかった。が、自分はまだマスクを除けなかった。

「病気を怖れないで、伝染の危険を冒すなどと云うことは、それは野蛮人の勇気だよ。病気を怖れて伝染の危険を絶対に避けると云う方が、文明人としての勇気だよ。誰も、もうマスクを掛けて居ないときに、マスクを掛けて居るのは変なものだよ。が、それは臆病でなくして、文明人としての勇気だと思うよ。」

自分は、こんなことを云って友達に弁解した。又心の中でも、幾分かはそう信じて居た。

三月の終頃まで、自分はマスクを捨てなかった。もう、流行性感冒は、都会の地を離れて、山間僻地へ行ったと云うような記事が、時々新聞に出た。が、自分はまだマスクを捨てなかった。もう殆ど誰も付けて居る人はなかった。が、偶に停留場で待ち合わせて居る乗客の中に、一人位黒い布片で、鼻口を掩うて居る人を見出した。自分は、非常に頼もしい気がした。ある種の同志であり、知己であるような気がした。自分は、そう云う人を見付け出すごとに、自分一人マスクを付けて居ると云う、一種のてれくささから救われた。自分が、真の意味の衛生家であり、生命を極度に愛惜する点に於て一個の文明人であると云ったような、誇をさえ感じた。

四月となり、五月となった。遠の自分も、もうマスクを付けなかった。ところが、四月から五月に移る頃であった。また、流行性感冒が、ぶり返したと云う記事が二三の新聞に現われた。自分は、イヤになった。四月も五月もになって、まだ充分に感冒の脅威から、脱け切れないと云うことが、堪らなく不愉快だった。

が、遠の自分も、もうマスクを付ける気はしなかった。日中は、初夏の太陽が、一杯にポカポカと照して居る。どんな口実があるにしろ、マスクを付けられる義理ではなかった。新聞の記事が、心にかかりながら、時候の力が、自分を勇気付けて呉れて居た。

丁度五月の半であった。市俄古の野球団が来て、早稲田で仕合が、連日のように行われた。帝大と仕合がある日だった。自分も久し振りに、野球が見たい気になった。学生時代には、好球家の一人であった自分も、此一二年殆んど見て居なかったのである。

その日は快晴と云ってもよいほど、よく晴れて居た。青葉に掩われて居る目白台の高台が、見る目に爽やかだった。自分は、終点で電車を捨てると、裏道を運動場の方へ行った。此の辺の地理は可なりよく判って居た。自分が、丁度運動場の周囲の柵に沿うて、入場口の方へ

急いで居たときだった。ふと、自分を追い越した二十三四ばかりの青年があった。自分は、ふとその男の横顔を見た。見るとその男は思いがけなくも、黒いマスクを掛けて居るのだ。自分はそれを見たときに、ある不愉快な<sup>シヨツゾク</sup>激動を受けずには居られなかった。それと同時に、その男に明かな憎悪を感じた。その男が、何となく小僧らしかった。その黒く突き出て居る黒いマスクから、いやな妖怪的な<sup>みに</sup>醜くさをさえ感じた。

此の男が、不快だった第一の原因は、こんなよい天気の日、此の男に<sup>よ</sup>依って、感冒の脅威を想起させられた事に<sup>ちがひ</sup>違なかった。それと同時に、自分が、マスクを付けて居るときは、偶にマスクを付けて居る人に、<sup>あ</sup>逢うことが嬉しかったのに、自分がそれを付けなくなると、マスクを付けて居る人が、不快に見える<sup>と</sup>云う自己本位的な心持も交じって居た。が、そうした心持よりも、更にこんなことを感じた。自分がある男を、不快に思ったのは、強者に対する弱者の反感ではなかったか。あんなに、マスクを付けることに、熱心だった自分<sup>まで</sup>迄が、時候の手前、それを付けることが、何うにも気恥しくな<sup>り</sup>て居る時に、勇敢に<sup>ごうぜん</sup>傲然とマスクを付けて、数千の人々の集まって居る所へ、押し出して行く態度は、<sup>か</sup>可なり徹底した強者の態度ではあるまいか。兎に角自分が世間や時候の手前、やり兼ねて居ることを、此の青年は勇敢にやって居るのだと思った。此の男を不快に感じたのは、此の男のそうした勇氣に、<sup>お</sup>圧迫された心持ではないかと自分は思った。

出典：菊池寛『マスク スペイン風邪をめぐる小説集』文春文庫 2020年 13-16頁

(1)著者はマスクの使用に対してどのような感情を持ち、行動していたか。その変化をたどりながら説明しなさい。(400字以内)

(2)本文は百年前のスペイン風邪の時の経験について書かれたものであるが、コロナ禍において、マスクが人々の心理にどのような影響を及ぼしたと考えるか。これから人間科学領域で学ぼうとする立場からあなたの考えを記述しなさい。(800字以内)

問題は回収します

(第1時限：60分)

(2025年2月実施)

## 2025年度人間科学研究科入学試験問題 博士課程前期課程

### 小論文

問題用紙2枚、解答用紙2枚

＜外国人留学生入学試験＞

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受験番号	志望領域	志望コース (該当コースに○)	氏名
		公認心理師コース ・ 一般コース	

以下の文章は、約百年前、世界中で流行したスペイン風邪（感冒、流行性感冒）について、当時書かれた短編小説である。これを読んで問いに答えなさい。

毎日の新聞に出る死亡者数の増減に依って、自分は一喜一憂した。日毎に増して行って、三千三百三十七人まで行くと、それを最高の記録として、僅かばかりではあったが、だんだん減少し始めたときには、自分はホッとした。が、自重した。二月一杯は殆ど、外出しなかった。友人はもとより、妻までが、自分の臆病を笑った。自分も少し神経衰弱の恐病症に罹って居ると思った。が、感冒に対する自分の恐怖は、何うにもまぎらすことの出来ない実感だった。

三月に、は入ってから、寒さが一日一日と、引いて行くに従って、感冒の脅威も段々衰えて行った。もうマスクを掛けて居る人は殆どなかった。が、自分はまだマスクを除けなかった。

「病気を怖れないで、伝染の危険を冒すなどと云うことは、それは野蛮人の勇気だよ。病気を怖れて伝染の危険を絶対に避けると云う方が、文明人としての勇気だよ。誰も、もうマスクを掛けて居ないときに、マスクを掛けて居るのは変なものだよ。が、それは臆病でなくして、文明人としての勇気だと思うよ。」

自分は、こんなことを云って友達に弁解した。又心の中でも、幾分かはそう信じて居た。

三月の終頃まで、自分はマスクを捨てなかった。もう、流行性感冒は、都会の地を離れて、山間僻地へ行ったと云うような記事が、時々新聞に出た。が、自分はまだマスクを捨てなかった。もう殆ど誰も付けて居る人はなかった。が、偶に停留場で待ち合わせて居る乗客の中に、一人位黒い布片で、鼻口を掩うて居る人を見出した。自分は、非常に頼もしい気がした。ある種の同志であり、知己であるような気がした。自分は、そう云う人を見付け出すごとに、自分一人マスクを付けて居ると云う、一種のてれくささから救われた。自分が、真の意味の衛生家であり、生命を極度に愛惜する点に於て一個の文明人であると云ったような、誇をさえ感じた。

四月となり、五月となった。遠の自分も、もうマスクを付けなかった。ところが、四月から五月に移る頃であった。また、流行性感冒が、ぶり返したと云う記事が二三の新聞に現われた。自分は、イヤになった。四月も五月もになって、まだ充分に感冒の脅威から、脱け切れないと云うことが、堪らなく不愉快だった。

が、遠の自分も、もうマスクを付ける気はしなかった。日中は、初夏の太陽が、一杯にポカポカと照して居る。どんな口実があるにしろ、マスクを付けられる義理ではなかった。新聞の記事が、心にかかりながら、時候の力が、自分を勇気付けて呉れて居た。

丁度五月の半であった。市俄古の野球団が来て、早稲田で仕合が、連日のように行われた。帝大と仕合がある日だった。自分も久し振りに、野球が見たい気になった。学生時代には、好球家の一人であった自分も、此一二年殆んど見て居なかったのである。

その日は快晴と云ってもよいほど、よく晴れて居た。青葉に掩われて居る目白台の高台が、見る目に爽やかだった。自分は、終点で電車を捨てると、裏道を運動場の方へ行った。此の辺の地理は可なりよく判って居た。自分が、丁度運動場の周囲の柵に沿うて、入場口の方へ

急いで居たときだった。ふと、自分を追い越した二十三四ばかりの青年があった。自分は、ふとその男の横顔を見た。見るとその男は思いがけなくも、黒いマスクを掛けて居るのだった。自分はそれを見たときに、ある不愉快な<sup>しんじつ</sup>激動を受けずには居られなかった。それと同時に、その男に明かな憎悪を感じた。その男が、何となく小僧らしかった。その黒く突き出て居る黒いマスクから、いやな妖怪的な<sup>みに</sup>醜くさをさえ感じた。

此の男が、不快だった第一の原因は、こんなよい天気の日、此の男に<sup>よ</sup>依って、感冒の脅威を想起させられた事に<sup>ちがひ</sup>違なかった。それと同時に、自分が、マスクを付けて居るときは、偶にマスクを付けて居る人に、<sup>あ</sup>逢うことが嬉しかったのに、自分がそれを付けなくなると、マスクを付けて居る人が、不快に見える<sup>と</sup>と云う自己本位的な心持も交じって居た。が、そうした心持よりも、更にこんなことを感じた。自分がある男を、不快に思ったのは、強者に対する弱者の反感ではなかったか。あんなに、マスクを付けることに、熱心だった自分<sup>まで</sup>迄が、時候の手前、それを付けることが、何うにも気恥しくな<sup>り</sup>って居る時に、勇敢に<sup>ごうぜん</sup>傲然とマスクを付けて、数千の人々の集まって居る所へ、押し出して行く態度は、<sup>か</sup>可なり徹底した強者の態度ではあるまいか。兎に角自分が世間や時候の手前、やり兼ねて居ることを、此の青年は勇敢にやって居るのだと思った。此の男を不快に感じたのは、此の男のそうした勇氣に、<sup>こ</sup>圧迫された心持ではないかと自分は思った。

出典：菊池寛『マスク スペイン風邪をめぐる小説集』文春文庫 2020年 13-16頁

- (1)著者はマスクの使用に対してどのような感情を持ち、行動していたか。その変化をたどりながら説明しなさい。(400字以内)
- (2)著者が他人のマスク姿を見て不快に感じた理由を説明しなさい。(400字以内)